学校番号	111

令和２年度　英語科

教科	英語科	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	NEW ONE WORLD Communication Ⅲ Revised Edition（教育出版）						
副教材等	改訂版WORD-MEISTER 英単語・熟語3000（第一学習社） 改訂版WORD-MEISTER 英単語・熟語3000 training book③（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅲの授業は「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのために読んだり、聞いたりしたことを基に情報や自分の考えなどについて話したり書いたりする言語活動を積極的に行います。授業では主体的に活動に参加しましょう。
・英語の文法や語彙について英語のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを常に意識して学習してきましょう。
・音読は外国語学習において相手に自分の意思を伝えるためにも非常に大切です。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にしっかりと伝わるよう音読を心がけてください。
・言語やその運用についての知識を身につけるだけでなく、背景にある文化なども理解しましょう。
・授業は分からないことを解決する確認の場です。確認するためには予習が必要不可欠です。自分自身の能力を高めるためにも予習は怠らないでください。

２　学習の到達目標

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）
主な教材：上記科目の教科書、副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って複数の文で描写することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について決まった表現や形式を用いて尋ねたり答えたりすることができる。	・プレゼンテーション ・ディスカッション	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの、嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	・ライティング課題 ・定期考査	・決まった表現でゆっくりはっきり発話される天候、時間、物の値段など、日常的な事柄について内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり発話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。	・リスニングテスト	・待ち合わせの時間や場所など日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考に理解することができる。	・定期考査

3　学習評価(評価規準と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Reading Task 1 (2時間)	キャンプ中の体験談を170語程度で述べたものを、意味のまとまりに気を付けながら読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「フレーズ・リーディング」という手法に関心をもち、意味のまとまりを意識しながら英文を読む。	・意味のまとまりでスラッシュを入れ、ペアで確認しあう。	・スラッシュを入れた箇所について積極的に話し合う。	・ペアでの意見交換を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・キャンプの体験談を、筆者の気持ちや意味のまとまりが相手に伝わるように音読する。	・グループ活動やペア活動を通して、声の抑揚やポーズを用いて、気持ちや意味が伝わるよう音読する。	・筆者の気持ちや意味のまとまりが相手に伝わるように積極的に音読する。	・ワークシートを提出させ、「相互評価」の内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・キャンプの体験談を読んだり聞いたりして、場面ごとの筆者の気持ちや意味のまとまりを理解できるようにする。	・グループやペアで音読を聞き、また自分で記したスラッシュにも着目しながら、筆者の気持ちや意味のまとまりを理解する。	・意味のまとまりに気をつけながら、英文の概要や筆者の気持ちを理解することができる	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・文の要素(SVOC)や前置詞のはたらき、関係詞節の修飾部分	・文の要素(SVOC)や前置詞のはたらき、関係詞節の修飾部分などに着目して、意味のまとまりを正確に把握する。	・動詞の位置や、前置詞・関係詞をたよりに意味のまとまりを見つけることができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 2 (2時間)	100 語程度の異なる２つの話題について、トピック・センテンスを見つけて内容を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・6～7文で構成される1つの話題について、「トピック、支持、まとめ」の箇所を見つけようとしている。	・トピック・センテンス(topic sentence)、指示文(supporting sentence)、まとめ文(concluding sentence)を英文から探し、ペアで確認しあう。	・トピック・センテンス、指示文、まとめ文について簡単に意見交換する。	・ペアでの意見交換を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・身近なテーマについて、「トピック、支持、まとめ」を設けて簡単な英文を書くことができる。	・「将来の夢」「家族」「思い出に残ること」などのテーマに沿って、「トピック、支持、まとめ」のある文章を書く。	・身近なテーマについて、トピックを考え、また支持文、まとめ文を設けて適切に英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		・6～7文で構成される1つの話題について、「トピック、支持、まとめ」があることを見つけ、説明文を理解することができる。	・段落の最初や最後に注意しながら、話題の大小、接続語に着目して内容を理解する。	・「トピック、支持、まとめ」を表す文章に注意しながら、内容を理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・トピック・センテンス、指示文、まとめ文の区別	・トピック・センテンス、指示文、まとめ文という用語と役割を知る。	・トピック・センテンス、指示文、まとめ文という用語について理解している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
Lesson 1 (6 時間)	動物園の目的を理解するとともに、日本および世界の動物園について、マップや表を見ながら動物園の楽しみ方を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動物園の目的や楽しみ方に関心を持ち、意欲的に読んだり書いたりできる。	・マップや表などの情報を基に、思ったことや考えたことをワークシートに基づいて、ペアなどで伝え合う。	・動物園の楽しみ方について、間違うことを恐れず、積極的に書いたり，伝えようとしたりしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・マップや表などの情報を基に、自分の考えを書いたり，話したりすることができる。	・マップや表などの情報を基に、自分の考えを書いたり，ペアなどで話し合ったりする。	・マップや表などの情報を基に、自分の考えを適切に書いたり話したりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文中の Question の内容を理解し、マップや表などの情報を適切にまとめることができる。	・本文中の Question を読み取り、趣旨に沿った情報をマップや表などなからまとめることができる。	・本文の概要を押さえながら、Question の趣旨、マップおよび表の情報を的確に読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・help＋人＋(to) 動詞の原形	・help＋人＋(to) 動詞の原形を、本文や”Let’s Check!”で確認し理解する。	・help＋人＋(to) 動詞の原形の使い方について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 (6 時間)	世界の食文化について、何を食べるか、どのように食べるか、どのような道具やマナーがあるかは、国や地域によって異なることを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の食文化について関心を持ち，意欲的に聞いたり読んだりする。	・パートごとに、世界の食文化について理解したことや考えたことについて、ワークシートに基づいてペアなどで伝え合う。	・世界の食文化について理解したことや考えたことについて、間違うことを恐れず、積極的に書いたり伝えようとしたりしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・世界の食文化について理解したことや考えたことについて、書いたり，話したりすることができる。	・パートごとに、世界の食文化について理解したことや考えたことについて、書いて話し合う。	・世界の食文化について理解したことや考えたことについて、ワークシートに英語で書き、また話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・国や地域によって食文化がどのように異なっているかについての説明文の概要を的確に聞きとることができる。	・部分否定 / 使役動詞の make / 疑問詞～前置詞に注意しながら、内容を理解することができる。	・部分否定 / 使役動詞の make / 疑問詞～前置詞に注意しながら、説明文の概要を的確に聞きとることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・部分否定 / 使役動詞の make / 疑問詞～前置詞	・部分否定についての知識を身につける。 ・使役動詞の make / 疑問詞～前置詞の使い方について理解する。	・本文中で使われている部分否定について理解できる。 使役動詞の make / 疑問詞～前置詞の使い方を理解できている。	・定期テストの、本文の内容を問う問題の中で、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 3 (2時間)	錯視のしくみについて 160 語程度の英文で説明したものを、代名詞が何を指しているかに注意しなが	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「錯視」について関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりできる。	・代名詞が何を指しているかに注意して、「錯視」とはどのようなものかを積極的に理解しようとしている。	・代名詞が何を指しているかについて、積極的に意見交換しようとしている。 錯視について書かれている内容について、対話をしようとしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			

	ら読み解く。	・教科書のほかに「錯視」の例を調べ、簡単な説明を英語で書くことができる。	・「錯視」の例を調べ、簡単な説明をワークシートに英語で書く。	・「錯視」についての簡単な説明を、間違うことを恐れず、積極的に書こうとする。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・代名詞が何を指しているかに注意して、「錯視」についての説明文の概要を的確に聞いたり読んだりすることができる。	・代名詞が何を指しているかに注意しながら、説明文を聞いたり読んだりして，概要や要点を捉える。	・説明文の文章の内容をとらえ、そこから書き手の意図を推測することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・代名詞のはたらきとその種類	・代名詞は、語句や文の繰り返しを避けるために使われることを確認する。 ・人称代名詞、指示代名詞、不定代名詞の区別を理解する。	・本文中に使用されている代名詞のとらえ方を理解できる。	・代名詞の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 3 (6 時間)	海の生き物の生態やダイビングのルール、海中の環境の変化について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・海中世界について関心を持ち，意欲的に聞いたり読んだりできる。	・海中世界の説明について、既知の語句や表現を活用しながら、書いたり伝えようとしたりしている。	・海中世界の説明について、ワークシートに概要や要点をまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・海中世界についての説明を書いたり、報告したりする。	・海中世界についての説明を、ワークシートに英語で書く。	・海中世界についての説明の要約文を、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・海中世界についての説明文の概要を的確に聞いたり読んだりする。	・パートごとに、関連した画像などを見ながら、海中世界についての理解を深める。	・文章の内容から、的確に書き手の意図を推測することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・～the same way as… / because of / 関係代名詞の目的格の省略	・～the same way as… / because of / 関係代名詞の目的格の省略の使い方について理解する。	・文法的に英文の内容をきっちりおさえた上で、海中世界についての説明を行う際の論理構造の特徴を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 4 (2時間)	筆者の運命的な再会を述べた文章について、時間的順序に注意しながら内容を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英文の内容を理解する際に、時制や、時間を表す表現、また順序を表す表現を見つけようとしている。	・時制や、時間を表す表現、また順序を表す表現を英文から探し、ペアで確認しあう。	・時制や、時間を表す表現、また順序を表す表現について簡単に意見交換する。	・ペアでの意見交換を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・身近なテーマについて、時間的順序をつけて簡単な英文を書くことができる。	・「今までがんばったこと」「生い立ち」「友達との出会い」などのテーマに沿って、時間的順序を明確にして文章を書く。	・身近なテーマについて、時間的順序を明確にして適切に英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・時制や、時間を表す表現、また順序を表す表現に注意しながら、内容を理解することができる。	・登場人物の年齢、出来事が起こった年代を表などで整理しながら、内容を理解する。	・時間的順序を表す文章に注意しながら、内容を理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・年月や日付、曜日、時間を表す数字や語句 ・順番を表す表現 (at first, in the beginning, next, then, eventually など)	・時間的順序を表す表現に着目することで、そのとき「誰が、どこで、どうしていたのか」が明確に理解できることを知る。	・本文中に使用されている時間的表現のとらえ方を理解できる。	・時間的表現の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

Lesson 4 (6 時間)	世界的な歌手であるサラ・ブライトマンの人生と夢について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・サラ・ブライトマンの人生と夢について関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりする。	・サラ・ブライトマンの人生と夢を深く理解し、そこから思ったり考えたりしたことについて、ペアワークなどの活動を通して考える。	・サラ・ブライトマンの人生と夢から思ったり考えたりしたことについて、間違うことを恐れず自分の考えをよく表現することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・サラ・ブライトマンの人生と夢について読み、それについて自分の考えを述べる。	・サラ・ブライトマンの人生と夢について読み取った内容およびそれについての自分の考えを、ワークシートにまとめる。	・本文から読み取ったサラ・ブライトマンの人生と夢を、的確にワークシートにまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・サラ・ブライトマンの人生と夢について、特に重要な事実等を捉えることを通じて，全体の要旨を理解する。	・登場人物の言動やその言動の理由等を捉えることを通じて、概要や要点を理解し、サラ・ブライトマンの人生と夢についての全体像をとらえその要旨を理解する。	・物語文を読んで、的確にその概要や要点をとらえることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・one of the 最上級 / never fail to～ / suggest 人 (should) 動詞の原形	・one of the 最上級 / never fail to～ / suggest 人 (should) 動詞の原形の使い方について理解する。	・本文中で使われている、one of the 最上級 / never fail to～ / suggest 人 (should) 動詞の原形について理解できる。	・定期テストの、本文の内容を問う問題の中で、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 5 (2時間)	浮き島での生活を160 語程度で述べたものを、例示・追加・付加を表す表現に気を付けながら読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英文の内容を理解する際に、例示・追加・付加を表す表現を見つけようとしている。	・例示・追加・付加を表す表現を英文から探し、ペアで確認しあう。	・例示・追加・付加を表す表現について簡単に意見交換する。	・ペアでの意見交換を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・浮き島での生活を、例示・追加・付加を表す表現に気を付けながら意味のまとまりが相手に伝わるように音読する。	・グループ活動やペア活動を通して、声の抑揚やポーズを用いて、表現や意味が伝わるよう音読する。	・表現や意味のまとまりが相手に伝わるように積極的に音読する。	・ワークシートを提出させ、「相互評価」の内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・例示・追加・付加を表す表現に気を付けながら、浮き島での生活について理解できるようにする。	・グループやペアで音読を聞き、また例示・追加・付加を表す表現に気を付けながら、意味のまとまりを理解する。	・意味のまとまりに気をつけながら、英文の概要を理解することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・like～ / for example , for instance / such as～ ・also / in addition, / in addition to～ / what is more / not only A but also B	・例示・追加・付加を表す表現に着目して、意味のまとまりを正確に把握する。	・例示・追加・付加を表す表現をたよりに筆者の意図を推測することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 6 (2時間)	電子辞書と紙の辞書のそれぞれの特徴について対話している文章を、比較・対照を表す表現に注しながら読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英文の内容を理解する際に、比較・対照を表す表現を見つけようとしている。	・、比較・対照を表す表現を英文から探し、ペアで確認しあう。	・、比較・対照を表す表現について簡単に意見交換する。	・ペアでの意見交換を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分で決めたテーマについて、比較・対照を表す表現を用いながら簡単な英文を書くことができる。	・「朝食はパンかご飯か」「どちらの車がよいか」「どちらの国に住みたいか」などのテーマに沿って、比較・対照を表す表現を用いながら文章を書く。	・自分で決めたテーマについて、比較・対照を表す表現を用いながら適切に英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・比較・対照を表す表現に注意して、対話している2人のそれぞれの主張について的確に聞いたり読んだりすることができる。	・比較・対照を表す表現に注意しながら、対話している2人のそれぞれの主張の概要や要点を捉える。	・説明文の文章の内容をとらえ、そこから書き手(対話者)の意図を推測することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・while / whereas ・on the other hand / by(in) contrast / some～, others… ・but / however / though	・比較・対照を表す表現の使い方について理解する。	・本文中に使用されている比較・対照を表す表現のとらえ方を理解できる。	・代名詞の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 5 (6 時間)	言語の消滅について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・言語の消滅について関心を持ち，意欲的に書いたり伝えたりできる。	・言語の消滅について、既知の語句や表現を活用しながら、書いたり伝えようとしたりしている。	・言語の消滅について、ワークシートに概要や要点をまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・言語の消滅についての説明を書いたり、報告したりする。	・言語の消滅についての説明を、ワークシートに英語で書く。	・言語の消滅についての説明の要約文を、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・言語の消滅についての説明文の概要を的確に聞いたり読んだりする。	・動名詞 / 比較級 / no matter how (形・副)などの表現に注して内容を理解する。	・文章の内容から、的確に書き手の意図を推測することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞 / 比較級 / no matter how (形・副)	・動名詞 / 比較級についての知識を身につける。 no matter how (形・副)の使い方について理解する。	・本文中で使われている動名詞 / 比較級 / no matter how (形・副)について理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 (6 時間)	アンネ・フランクの生涯、隠れ家での生活、そして彼女の心の動きについて、資料を参考にしながら学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アンネ・フランクについて関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりする。	・アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きについて深く理解し、そこから思ったり考えたりしたことについて、ペアワークなどの活動を通して考える。	・アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きから思ったり考えたりしたことについて、間違うことを恐れず自分の考えをよく表現することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きについて読み、それについて自分の考えを述べる。	・アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きについて読み取った内容およびそれについての自分の考えを、ワークシートにまとめる。	・本文から読み取ったアンネ・フランクの人生と彼女の心の動きを、的確にワークシートにまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きについて、特に重要な事実や資料等を捉えることを通じて，全体の要旨を理解する。	・登場人物の言動やその言動の理由等や資料等を捉えることを通じて、概要や要点を理解し、アンネ・フランクの人生と彼女の心の動きについての全体像をとらえその要旨を理解する。	・物語文およびそれに関する資料を読んで、的確にその概要や要点をとらえることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・can hardly～ / would have 過去分詞(仮定法過去完了) / S ＋ find + O ＋ C	・would have 過去分詞(仮定法過去完了)についての知識を身につける。 ・can hardly～ / S ＋ find + O ＋ C の使い方について理解する。	・本文中で使われている would have 過去分詞について理解できる。 ・can hardly～ / S ＋ find + O ＋ C の使い方を理解できている。	・定期テストの、本文の内容を問う問題の中で、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 7 (2時間)	風邪の対処法について 160 語程度の英文で説明したものを、原因・結果を表す表現に注意しながら読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英文の内容を理解する際に、原因・結果を表す表現を見つけようとしている。	・原因・結果を表す表現を英文から探し、ペアで確認しあう。	・原因・結果を表す表現について簡単に意見交換する。	・ペアでの意見交換を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分で決めたテーマについて、原因・理由をともなって簡単な英文を書くことができる。	・「自分の長所・短所」「自分のおすすめ」などのテーマに沿って、原因と結果を明確にして文章を書く。	・自分で決めたテーマについて、原因と結果を明確にして適切に英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・原因・結果を表す表現に注意しながら、内容を理解することができる。	・原因・結果を表す表現に注意しながら、因果関係を表などで整理して内容を理解する。	・原因・結果を表す表現に注意しながら、内容を理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。

		「言語や文化についての知識・理解」			
		・so / therefore / cause / lead to / result in ・because / due to / because of / be caused by / result from	・原因・結果をあとに続ける動詞(句)についての知識を身につける。 ・原因・結果を述べる接続詞の使い方について理解する。	・本文中に使用されている原因・結果を表す表現のとらえ方を理解できる。	・代名詞の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Reading Task 8 (2時間)	210 語程度で抜粋された物語文の一部を、語句の意味を推測しながら読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・未知語の意味を推測することに関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりできる。	・未知語の意味について推測し、必要に応じて辞書を活用しグループで意見交換することができる。	・未知語の意味について推測したことを、積極的に話したり聞いたりしている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・未知語の意味について推測したことを伝えることができる。	・未知語の意味について推測したことを、ワークシートに書いてグループで伝える。	・未知語の意味について推測したことを、適切に伝えることができる。	・ワークシートを提出させ、「相互評価」の内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・必要に応じて辞書を活用し、未知語について品詞と意味を特定して英文の概要を推測することができる。	・未知語の品詞と意味について推測したことを、グループでの意見を聞きながらまとめ、必要に応じて辞書を活用したうえで英文の概要をも推測する。	・グループの意見や辞書の内容から、未知語の品詞や意味を特定し、英文の概要を推測することができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・品詞のはたらき ・接頭辞・接尾辞	・品詞についての知識を身につける ・接頭辞・接尾辞についての知識を身につける。	・品詞のはたらきや接頭辞・接尾辞、前後の文脈に注意して、未知語の意味を推測することができる。	・未知語の推測を意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 7 (6 時間)	赤ちゃんの意外な能力について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・赤ちゃんの意外な能力について関心を持ち，意欲的に書いたり伝えたりできる。	・赤ちゃんの意外な能力について、既知の語句や表現を活用しながら、書いたり伝えようとしたりしている。	・赤ちゃんの意外な能力について、ワークシートに概要や要点をまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・赤ちゃんの意外な能力についての説明を書いたり、報告したりする。	・赤ちゃんの意外な能力についての説明を、ワークシートに英語で書く。	・赤ちゃんの意外な能力についての説明の要約文を、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・赤ちゃんの意外な能力についての説明文の概要を的確に聞いたり読んだりする。	・It is … that ～ / enough + 名詞 + to～ / …so that S can [may/well] ～などの表現に注意して内容を理解する。	・文章の内容から、的確に書き手の意図を推測することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・It is … that ～ / enough + 名詞 + to～ / …so that S can [may/well]～	・It is … that ～ / enough + 名詞 + to～ の知識について身につける。 ・…so that S can [may/well]～ の使い方を理解する。	・本文中に使用されている It is … that ～ / enough + 名詞 + to～のとらえ方を理解できる。 ・…so that S can [may/well]～ の使い方を理解できている。	・時間的表現の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 (8 時間)	古代ローマ人の生活について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・古代ローマ人の生活について関心を持ち，意欲的に聞いたり読んだりする。	・パートごとに、古代ローマ人の生活について理解したことや考えたことについて、ワークシートに基づいてペアなどで伝え合う。	・古代ローマ人の生活について理解したことや考えたことについて、間違うことを恐れず、積極的に書いたり伝えようとしたりしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・古代ローマ人の生活について理解したことや考えたことについて、書いたり，話したりすることができる。	・パートごとに、古代ローマ人の生活について理解したことや考えたことについて、書いて話し合う。	・古代ローマ人の生活について理解したことや考えたことについて、ワークシートに英語で書き、また話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		・古代ローマ人の生活についての説明文の概要を的確に聞きとることができる。	・間節疑問how / 関係副詞の日制限用法 / few + 名詞、most + 名詞に注意しながら、内容を理解することができる。	・間節疑問how / 関係副詞の日制限用法 / few + 名詞、most + 名詞に注意しながら、説明文の概要を的確に聞き取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・how + S + V / It is thought ～to… / ～, where… / few ＋名詞、most + 名詞	・how + S + V / ～, where… の知識について身につける。 ・It is thought ～to… / few ＋ 名詞、most + 名詞の使い方を理解する。	・本文中に使用されている how + S + V / ～, where…のとらえ方を理解できる。 ・It is thought ～to… / few ＋名詞、most + 名詞の使い方を理解できている。	・時間的表現の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 9 (8 時間)	寿司ネタや刺身として人気の高いマグロについて、理解を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・マグロについて関心を持ち，意欲的に書いたり伝えたりできる。	・マグロについての情報を、既知の語句や表現を活用しながら、書いたり伝えようとしたりしている。	・マグロの情報ついて、ワークシートに概要や要点をまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・マグロについて理解したことや考えたことについて、書いたり，話したりすることができる。	・マグロについて理解したことや考えたことについて、書いて話し合う。	・マグロについて理解したことや考えたことについて、ワークシートに英語で書き、また話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・マグロについての説明文の概要を的確に聞いたり読んだりする。	・…, which(前の英文全体を指す関係代名詞の継続用法) / with + 名詞～(付帯状況)などに注意しながら、内容を理解することができる。	・・…, which(前の英文全体を指す関係代名詞の継続用法) / with + 名詞～(付帯状況)に注意しながら、説明文の概要を的確に聞き取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・…, which(前の英文全体を指す関係代名詞の継続用法) / with + 名詞～(付帯状況) / It is known that～ / have been ～ing	・…, which(前の英文全体を指す関係代名詞の継続用法) の知識について身につける。 ・with + 名詞～(付帯状況) / It is known that～ / have been ～ing の使い方を理解する。	・本文中に使用されている…, which(前の英文全体を指す関係代名詞の継続用法)のとらえ方を理解できる。 ・with + 名詞～(付帯状況) / It is known that～ / have been ～ing の使い方を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 (8 時間)	水資源の貴重さについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・水資源の貴重さについて関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりする。	・水資源の貴重さについて理解し、そこから思ったり考えたりしたことについて、ペアワークなどの活動を通して考える。	・水資源の貴重さについて思ったり考えたりしたことについて、間違うことを恐れず自分の考えをよく表現することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・水資源の貴重さについて読み、それについて自分の考えを述べる。	・水資源の貴重さについて読み取った内容およびそれについての自分の考えを、ワークシートにまとめる。	・本文から読み取った水資源の貴重さについて、的確にワークシートにまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・水資源の貴重さについて、特に重要な事実や資料等を捉えることを通じて，全体の要旨を理解する。	・未知語の品詞と意味について推測しながら概要や要点を理解し、水資源の貴重さについての全体像をとらえその要旨を理解する。	・水資源についての説明文を読んで、的確にその概要や要点をとらえることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了の受動態 / as much (many) ～as… / 分詞構文 / 形式主語の it	・現在完了の受動態についての知識を身につける。 ・as much (many) ～as… / 分詞構文 / 形式主語の it の使い方について理解する。	・本文中に使用されている現在完了の受動態のとらえ方を理解できる。 ・s much (many) ～as… / 分詞構文 / 形式主語の it の使い方について理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

Reading (8時間)	イギリスの女流作家イザベラ・バードの記述から、明治時代の日本の様子について読み解く。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・欧米人からみた明治時代の日本の様子について関心を持ち、意欲的に読んだり考えたりする。	・欧米人からみた明治時代の日本の様子について深く理解し、そこから読み取れる筆者の感情について、ペアワークなどの活動を通して考える。	・筆者の感情を文章から推測し、間違うことを恐れず自分の考えをよく表現することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・欧米人からみた明治時代の日本の様子について読み、筆者の感情について自分の考えを述べる。	・欧米人からみた明治時代の日本の様子について読み取った内容やそこから考えらえる筆者の気持ちを、ワークシートにまとめる。	・本文から読み取った明治時代の日本の様子について読み取った内容やそこから考えらえる筆者の気持ちを、的確にワークシートにまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・欧米人からみた明治時代の日本の様子についての記述を読んで、筆者の気持ちを表す形容表現や、特に重要な描写等を捉えることを通じて，全体の要旨を理解する。	・筆者が用いている語句や、その語句が用いられている理由等を捉えることを通じて、概要や要点を理解し、筆者のもつ感情について理解する。	・物語文を読んで、的確にその概要や要点をとらえることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・場面や状況、目的に応じた表現についての知識を身につける。 物語文に特有の文体や論理構造の特徴を理解する。	・本文中で用いられている物語文特有の表現をおさえながら、特徴的な論理構造に理解を深める。	・物語文に特徴的な表現・文体や論理構造を理解し、スムーズにその内容を理解することができる。	・物語文に特徴的な表現・文体や論理構造を意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。